



再生の活動と大学の役割

溝口 勝（東京大学，東京大学福島復興農業工学会議，ふくしま再生の会）



群盲評象

大学は個々の知見を繋いで象を動かせるのか？



<http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/e/e1/Blind.JPG>

いま科学技術が問われている

• 農学は風評被害をなくせるか？

• 農学栄えて農業減ぶ

– 横井時敬

土に立つ者は倒れず、
土に生きる者は飢えず、
土を護る者は滅びず



「天空の城ラピュタ」から I Love Soil

• いま私たちは何ができるのか？

私たちのグループの特徴

- ふくしま再生の会との協働
 - 大学の社会的役割を意識
- 総合的な農学の特徴
 - 現場的視点
 - 農業農村の復興
- 関東の農学部連合
 - 福島大学に農学部がない
- 人脈を活かしたボランティア的研究
 - 学術的価値は高い



飯舘村—NPO法人—大学の連携



市民との信頼関係

飯舘村の農業復興に向けて

- 飯舘三酒
 - 飯舘大吟醸
 - 飯舘芋焼酎
 - 飯舘濁酒
- 飯舘特産農産物
 - 飯舘特産の肴(さかな)
 - 伝統的な味付けを活かした調理法
- 海外展開
 - Fukushima/litateブランド
 - 徹底した品質管理 GLOBAL G.A.P.



by Mizo

私たちの取り組み原則

- まずは現場を見ることが大切
 - 現場に合った総合的な技術の適用を考える
- 老若男女、地域・組織を越えた「協働」
 - 農家の知恵の中にヒントがある
 - あらゆる人材・知識を総動員する
- 一刻も早い行動
 - 考えながら走る！走りながら考える！！
 - 組織や制度に囚われないで柔軟に対応する
- 主役は村民
 - 再生の会は裏方に徹したい

